社説

外交上の進退

個人又は會社が商賣工業を營むには經濟社會の事情に應じて其事業を伸縮せざる可らざるは勿論なれども少しく景氣よければ調子に乘て漫に手を擴げ又少しく惡しければ頓に畏縮して恐慌を招くが如きは狼狽者の事にして到底成功す可らず而して一國の外交も亦斯の如し時としては手を縮め息を殺して默せざる可らざるのみとあり又時としては大に奮發す可き場合もある可しと雖も進むにも退くにも能く自家の力を計り列國の形勢を察して漫に畏縮し漫に威張て國辱を招くが如きことある可らず竊に露西亞の外交を見るに急がず怠らず畏れず侮らず徐々に其歩を進めて次第に目的に近寄るもの丶如し君斯坦丁堡を占領せんとはピーター以來の計畫にして之が爲めには二回までも戰を開き其度毎に故障に遇ふて目的を遂するを能はざりしかども毫も失望せず百年一日の如く孜々として經營しつゝあり又極東の方面に於ても支那朝鮮に對して異志を抱く一日に非ざれども決して急激に運動せず左ればとて寸時も油斷せず恰も水の物を浸すが如く機に會する每に次第々々に侵入して今や殆んど其志を遂げんとするに至れり顧て日本の外交を見れば一伸一縮の甚だしき恰も譏談に類するものあり例へば朝鮮に對する筆法を見るに一時半嶋の全權を掌握して各官衙には日本の顧問を容れ日本の兵隊巡査は各所に駐屯し制度文物は日本流に改め内政外交は日本の指圖に從ひ商賣貿易も總て日本人の專にする所なりしに局面一變、露國が次第に歩を進むると共に日本は次第に退却し曾て日本の手に在りし兵馬財政の權は既に露の有に歸し我顧問官は追ひ出され我貸金は返却せられ露韓銀行が設立せられんとするなど主客全く地位を替へ日露協商すら事實に於て將に反古たらんとするは著しき變動と云はざるを得ず且つ布哇問題の如きも一時の動に似ず今は朝野共に忘れたるもの丶如し米國に於ては今や方に合併の議論喧しく布哇の存亡は目前に迫れるに二萬有餘の移民を出して利害の關係淺からざる日本が恰も對岸の火災視するのみならず彼の上陸拒絕の如きは明に我權利を犯したるものにして之が爲めに生じたる損害は速に償はしめざる可からざるに其後談判は少しも進歩せず一年の久しき今日に至て尚ほ膠着せるは遺憾と云はざる可らず固より今日は遽に事端を滋くす可きの時に非ず朝鮮に對し將た布哇に對して俄に強硬手段を執るが如き我輩の好まざる所なれども凡そ外に交るには常に大體に着目して進退共に其度を失はざるを要す自から力を計らずして暴進すれば國を危うするの虞あると共に自衞獨立の力を備へながら相手の望むがまに〳〵讓歩すれば[illegible]に[illegible]して遂に[illegible]る可し[illegible]みて日本の國力を察するに[illegible]て強大とは[illegible]未[illegible]の[illegible]上を[illegible]するに[illegible]ずし[illegible]對する[illegible]これとも[illegible]の[illegible]視す可らず[illegible]ればとて[illegible]る[illegible]日本[illegible]人とも稱す可きはその人種にしていよ〳〵國の獨立を危うするに至れば四千萬人悉く武器を取て起つ可きは明白なり左れば日本は結局征服す可らざる國にして如何に間違ふとも獨立の一點に至ては秋毫の疑もある可らず且つ又今の世界は弱肉強食の修羅場には相違なしと雖も總ての外交問題は單に兵力の強弱のみに依て決するものに非ず例へば北米合衆國は兵力に於て固より英國の敵に非ざれども一旦ヴエネズヱーラ問題の起るや西大陸の牛耳を取るものは即ち我合衆國にして歐洲の蹂躙に任す可らずとて横合より喙を容れ遂に英國をして讓歩せしめたる此一事を見ても外交社會には腕力以外に一種の力あるを知る可し左れば日本の如きは固より爲すあるに足るの國にして時に一進一退を免れずとするも結局畏縮するにも狼狽するにも及ばざるものなり小成功に狂喜し小失敗に落膽するものは到底大國民と爲るゐと能はず急がず怠らず畏れず侮らず實着に歩を進めんこと我輩の希望する所なり

電報

（時事新報北京特電）

○償金の皆濟と旅順の露艦●●●●●●

北京二月廿六日午後一時杉特派員發
同　十時二十分本社着

清國政府日本への償金を一時に皆濟して威海衛に於ける日本兵盡く撤退するも露艦尚ほ旅順港を撤退せざれば英國は威海衛を占領す可き模樣ありと確實なる筋より聞けり

○清國外債尚ほ商議中●●●●●●

同上

清國政府は香港銀行（香港上海銀行か）より一億兩借入れんとして目下商議中なり

（時事新報京城特電）

○李載純縛さる●●●●

京城二月廿六日午後特發

李載純氏本日午後三時に捕縛されたり多分金鴻陸を殺さんとしたる刺客事件の連累ならん

○絕影島愈々貸渡さる●●●●●●

京城二月二十七日午後特發

昨夜外部大臣署理閔種默氏より露國公使に向ひ愈々絕影嶋を貸與す可き旨を返答したり

（時事新報仁川特電）

○露米軍艦の出入

仁川二月二十六日午後特發

本日露艦グレミャスキー及び米艦コンコルドの二艘入港せり

（時事新報特受ロイテル電報）

○露國の質言●●●●

倫敦二月廿六日特發

英國外務次官カーゾン氏は議會に於て**露國、支那に於て港灣を占有する事あらば必ず之を世界の航海通商に公開す可し**と宣言せる露國外務大臣ムラヴヰエフ氏の通牒を朗讀したり

○紐育市場の騷動●●●●●●

同上

キユーバ嶋ハヴアンナ港にて米國軍艦メインの破壞したる（去る十八日及二十日の時事新報）は取調の結果、過失に非ざるの證據漸く現はる（西班牙人の所爲か）との風說盛に行はれて**紐育の取引所は殆んど恐慌**とも謂ふ可き有樣を呈せり（西米開戰を氣構へたるならん）

○英佛の西阿事件

同上

英國總理大臣ソールズベリー侯は上院に於て佛國外務卿アノトッ氏は其後更らに英國大使モンソン氏に向て佛國軍隊は一兵たりともソコトに侵入したる事なしと確言せし旨を演說せり

○西阿駐兵費に就て

同上

西部阿非利加の佛境戍兵新設は徒に佛國を挑撥するに過ぎざれば其戍兵費を削減せんと云ふラブーシヤー氏の動議は否決されたり

○殖民大臣と西阿駐兵

同上

英國殖民大臣チエンバーレン氏は其際演說して曰く若し佛國の依然西部阿非利加内地の所領を擴張するに一任し英國之に伴ふ膨脹を企圖せざれば我英領殖民地は支離滅裂と爲る可し是れ佛境戍兵新設を要する所以なり英國は佛國との友交を維持んせと切望するもその利益を犧牲に供するに至りては之を坐視する能はずと

○希臘の外債談調ふ

同上

希臘の公債擔保は英佛及露の三國の擔保にて四百萬磅は三分利、其餘は外國の擔保なくして利息は漸々高き筈なり

○阪鶴鐵道重役會議

大阪二月廿六日午後特發

阪鶴鐵道[illegible]重役會[illegible]を開き[illegible]の末、

全線路に對す
月四日大株主

○秋津洲艦
秋津洲艦は昨

○加茂川丸淺
長濱の入口淺洲
丸は昨朝保津川

○山階宮
本日午前五時
六時半東園侍從
出棺儀仗兵二
て同十時泉涌
眞木齋主祭詞
讀わらせられ
下の御代拜滋
拜館を了り畏
殿下其他御近
玉串を奉じ十
僧侶の佛祭あ
式を了りたり
從五位勳六等
官等數百、道
受けたりた又
晴となりたり
御列に加はり

○日本鐵道同
同盟罷工の件
課長來り罷工
づ出勤するみ

○新潟縣第六
本縣第六區の
に讓り自由黨

○鳥取縣第三
本縣第三區の
者に推選せり

○香川縣第五
本縣第五區自
し高橋松齋氏
し俄かに運動

○福岡縣下の
本縣の候補者
藤金作第三區

○長崎縣第
本縣第一區の
富永隼太の二

○自由黨政況
自由黨の政況

○知事訓示
本縣知事は選
注意せり